

北アルプス 有明山

2014年6月16日(月) 晴れ

L : ふじ、井藤、ヤマメ、磯部N(記)、川村裕、松原、常楽

有明山は、人気の燕岳と同じ中房温泉から登るコースがあるにもかかわらず、意外に登山者が少ない静かな山旅を楽しめる山です。
ほとんど樹林の中を歩くので頂上直下まで展望が無いことと、梯子・鎖がある、かなりの急登が続くことから、明るいイメージの燕岳や常念岳ほどには登る意欲をかき立てられない山だと言えるかもしれません。
中房温泉の第三Pの脇にある登山口から歩き始めます。



駐車場脇の登山口 もちろん計画書を出しました

15分ほどはなだらかな登りですが、滝への分岐を越えるとひたすら耐えるだけの急な登りが始まります。木の根の張り出しが多く、足場にもなりますが滑りやすいです。



根が張りだしている急登

標高2,000mを越えた辺りから谷筋に残雪もありました。所々、岩場も出てきますが鎖やボルトが設置されているので、ゆっくり乗り越えれば大丈夫でした。



岩場をトラバース

季節的にシャクナゲが咲いていてきれいなトンネルができていました。急登最中の癒しの風景でした。



見頃のしゃくなげの花

頂上は北岳、中岳、南岳の三つがあり、それぞれに立派な祠が祀ってあります。北岳から南岳までは、道に木が茂ってきていて、かき分けたり、岩を乗り越したり、片側が完全に切れ落ちていて、注意しながら歩いて30分近くかかりました。

この頂上からは麓の安曇野の街が、きれいに見えました。



岩を乗り越えながら南岳を目指します



眼下に広がる、安曇野の街

急な下りは「よくもこんな道を登ったなー。」と言いつつ慎重に、ゆっくり下りました。



危険な箇所にはフィックスロープが



ながーい階段を下りると楽になる

せっかくなので、三段の滝と樽沢の滝によって、マイナスイオンでリフレッシュして駐車場に戻りました。



樽沢の滝で記念撮影



ようやく下山口へ出た

<タイム> 第3P(6:40)－滝分岐(7:00)－八合目(9:57)－北岳(10:24)－中岳(10:40)－南岳(11:12)－北岳(11:46)－四合目(13:55)－滝分岐(14:49)－樽沢の滝(15:09)－第3P(15:20)

以上